A 型肝炎・B 型肝炎混合ワクチンの説明書
商品名：Twinrix

■B 型肝炎について

B 型肝炎ウイルスによる急性肝炎や慢性化して肝細胞癌の原因になります。
さらに、病気治療で使用した免疫抑制剤によってウイルスが再活性化され発症する de novo 肝炎の原因にもなります。

■感染経路

・【A 型肝炎】主に経口感染します。
・【B 型肝炎】性行為や医療行為、美容行為(ピアスや入れ墨)で、血液や体液から感染します。
・【B 型肝炎】ヒトーヒト感染は濃厚接触だけでなく、祖父→父→孫の経路不明例の報告もあります。

■流行地域

【B 型肝炎】発展途上国で感染リスクがあり、中国、東南アジア、アフリカではキャリアが多いです。

■診断と治療

・採血による抗体の上昇や腹部エコー、腹部 CT によって総合的に診断します。
・急性期は特別な治療法はなく、安静と対症療法のみです。
・【B 型肝炎】劇症肝炎では核酸アナログによる抗ウイルス療法を開始します。
・【B 型肝炎】慢性化した場合は発癌予防の内服治療などがあります。

■予防方法

・不特定の人との性交渉は避ける。また、コンドームを使用する。
・海外では医療器具が汚染されていることもあり、信頼できる医療機関を受診する。
・ワクチンを接種する。

■ワクチン接種対象者

・A 型肝炎は厚生労働省や 米国CDC が接種を推奨する国や地域に赴く方。
・B 型肝炎については、抗体のない方全てが接種対象者になります。

■ワクチンについて

・Twinrix は A 型肝炎、B 型肝炎の双方に対するワクチンです。

	Twinrix（輸入ワクチン）
【製造会社】	GSK（GlaxoSmithKline）
【適応年齢】	18 歳以上。
【接種回数】	通常接種法3回、加速接種法4回
【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】	通常接種法：初回と 4 週後（翌月）と半年後。 加速接種法：初回と 翌週と21−30日後と1年後。
【接種方法】	筋肉内注射。
【持続期間】	A 型肝炎は 15 年。B 型肝炎はほぼ一生。

■副反応 注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■諸注意 過去に同ワクチンにアレルギーを起こされた方、発熱している方は接種できません。妊娠・授乳中の方には推奨しません。

■健康被害が生じた場合 輸入ワクチンでは輸入代行業者による副作用救済制度を利用できます。 ワクチン接種後に発生した副反応などの症状には適宜対応します。